

中間報告書

令和6年9月13日現在

1 事業名 GOGO千屋牛！応援事業

2 実施期間 令和6年7月1日～令和7年2月28日

3 事業内容

① 事業の目的・概要

全共で上位入賞するため、和牛の飼育技術向上を図る。
千屋牛の歴史や地産地消、食育への理解醸成を図る。

② 事業の流れ・進捗状況等

<実施したこと>

- ・ 県外ブランド和牛先進地視察（兵庫県、島根県、鹿児島県）
- ・ 千屋牛おいしさ改善のための飼料給与実証（8月より給与開始）

<今後、実施すること>

- ・ 飼料給与実証について、給与後の肥育牛についてデータを収集、分析し、飼料給与メニューを作成する。
- ・ 新見市内小学校への出前授業を実施し、また、給食へ千屋牛を提供する。

③ これまでの成果・効果、今年度事業終了後の成果・効果の見込み

(1) 県外ブランド和牛先進地視察

アンケートで「ブランド牛に対する取組を理解できた」、「新たな知見を得ることができた」といった回答が得られ、千屋牛の生産意欲向上、飼養管理技術の向上につながったのではないかと考えています。

また、鹿児島へ視察に行った高校生は全員が「将来は牛を飼う職に就きたい」と回答があり、将来の担い手として大いに期待が持てると感じました。

(2) 千屋牛のおいしさ（脂肪の質）改善のための給与実証

給与実証で作成した飼料給与メニューを活用することで千屋牛のおいしさを改善し、全共上位入賞、千屋牛の食味改善及びPRへつなげていきたいと思えます。

(3) 新見市内小学校への出前授業及び千屋牛提供

千屋牛出前授業では体験飼育をしてもらうことで、千屋牛に対して愛着を持ってもらい、食卓へ出てくる牛肉（千屋牛）の美味しさを改めて感じ取ってもらえたらと思っています。

また、体験飼育をする中で、畜産業に興味を持つ子が現れることを期待しています。

④ 課題等

近年の生産コストの上昇、担い手の不在により和牛生産農家は減少の一途をたどっており、如何にして担い手を確保していくかが喫緊の課題です。

全共での上位入賞を果たし千屋牛を広くPRすること、和牛（千屋牛）の魅力を若者に伝えていくことで畜産業に興味を持ってもらうことが極めて重要だと思えます。

4 参考事項・資料

収支精算書見込

写真

当日資料

アンケート結果

5 次年度以後の事業展開

次年度の事業 展開	事業展開の方向性 (以下のチェック欄のいずれかに「✓」を記入してください。)
	<input type="checkbox"/> 提案団体の自主事業として収益を得て継続・拡大していくことを目指す。 <input type="checkbox"/> 地域づくり事業として事業を継続しつつ、次々年度の自主事業化へ備える。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (自主事業として実施しつつ、一部は地域づくり事業を活用)
	中期的な目標を実現させるための具体的な事業の内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・全共へ向けてのおいしさ改善のため飼料給与実証を継続する。 ・小学校への理解醸成については今後も新見市の協力も得ながら出前授業 (体験飼育) を行う。 ・和牛の飼育技術の向上についても先進地で視察したことを活かし、定期的な講習会などを開催する。

兵庫視察の様子（県立但馬牧場公園、但馬家畜市場）



鹿児島視察の様子（県立曾於高校、曾於畜産市場、畜産農家）



島根視察の様子（畜産農家）

